

日本地震工学会「原子力安全のための耐津波工学の形成に関する調査委員会」の活動経過

実施項目	2012 年			2013 年				2014 年			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
1. 成果目標の検討			1回 (12/6) 2回 (12/27) 基本方針								
2 本論	各章の骨子、3.11 地震時の対応 (1) : 東電			3回	4回、5回	6回、7回	8回、9回	10回	11回、12回	13回	
	対象とする施設 (2章)、3.11 地震時の対応 (2) : 東北電						フラジリティー評価 (8章)、 一般防災との関連 (9章)				
	原子力発電所の地震・津波事故シナリオ (3章)、 3.11 地震時の対応 (3)										
	原発の地震・津波安全に関する性能 (4章)、国際的動向								耐津波工学関連の解析コード (10章) 総説 (1章)、耐津波工学の体系 (11章)		
	リスク論に基づく津波防御の体系 (5章)、 他組織の取り組み (JSCE, JNES, JEA など)										
3. まとめ					津波の外力作用 (6章)						
					津波防御の工学的な方法 (7章)				報告書とりまとめ		
準備会・事務局打合せ	4/20, 5/25,	7/11, 8/2, 8/6 8/7	11/27, 12/13, 20, 25								
幹事会・特定課題討議		8/22, 9/18	10/11, 11/2, 11/21	1/11							
シンポジウム等の開催											
日本原子力学会等の活動状況 特別専門委員会 年次大会		秋の大会		春の年会		秋の大会		春の年会		秋の大会	

+上記のほか、原発サイトの視察を行う方針 (候補: 福島第二、女川、浜岡、柏崎刈羽、志賀、関電関係など)

+各章関係の発表の中に、原発サイトでの適用例を適宜含める